

偶然を奇跡に変える 17 のルール

— クリスマスにオグ・マンディーノ著「人生を語る」を読む —

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 来週にはクリスマスがありますので、今日は皆様にクリスマスプレゼントとして好適な本を 1 冊紹介させていただきます。ダイヤモンド社から 12 月 11 日に発行されたオグ・マンディーノ著「人生を語る—偶然を奇跡に変える 17 のルール—」という本です。オグ・マンディーノさんは、非常に有名な作家です。ただ、35 歳の時にアルコール依存症のホームレスになりました。これはいけないことですが、仕事も家族も失ったオグ・マンディーノさんは、失意の果てに手元に残されたわずかなお金で自殺する銃を買おうと思い詰めたそうです。それほどの人生の底を見た彼ですが、それから 10 年もたたないうちに見事に這い上がってベストセラー作家になって成功し、真の幸せを手に入れることが叶いました。そのため、オグ・マンディーノさんは本当の成功と幸福を語る唯一の人物だといわれています。成功と挫折のすべてが現実には彼のみに起こった真実の物語だということから、「オグ・マンディーノさんの話されたことを実際に行ってみれば、失敗とか、悲しみとか、貧困とか、恥とか、自己憐憫といいますが、自分自身を恥じるということを感じる日など一日もない人生を送れることでしょう」ということばが「人生を語る」という本のカバーのところに書いてあります。
3. では、人生にはどのようなことが大切なのかというと、人生というゲームには 17 のルールがあるということです。そこで、その 17 のルールについて少し紹介させていただきます。
 - (1) 最初のルールは、「恵まれている点に目を向ける。自分はもしかしたら恵まれていないと考えている方もいるが、本当によく考えれば自分自身は恵まれている。自分にはどれほどの価値があるか、どれほど長所があるかについて気づいたら、また笑顔が戻ってきて、お日様が姿を表し、すばらしい音楽の音が聞こえてくる」です。
 - (2) ルールの 2 番目は、「給料以上の働きをする。これを心掛けたらよい。何事も期待される以上の仕事をするという秘訣を習得すれば、成功の勝利は半ば手に入れたも同然である。ですから、職場に欠かせないような人材になるように、役に立つ人間になることが大事」です。給料以上の働きをする。これが人生というゲームで成功する上で大切になる 2 番目です。
 - (3) ルールの 3 番目は、「過去の失敗や不幸を引きずらない。失敗は人生が人に教訓を与える手立てなのである。時々へまをやらかす能力は、自分の目標に到達する能力と割り切って、切り離せない関係にある。連戦連勝の有志などどこにもいない。失敗してもそれは成長の一部に過ぎない」です。このように考えて過去の失敗や不幸を引きずらないことが大切であるというのが 3 番目で

す。

- (4) ルールの 4 番目では「1 日の苦労は円満な家庭で癒やす。子どもには小言ではなく手本が必要だということを忘れないで、じっくりと家族への愛を育てましょう。子どもに最高の自分を見せようといつも心掛けていると、自分もぐんぐん向上します。そして、世間の目は、他の点ではどう見ても冴えないように映っても、愛に溢れた家族があれば、あなたは成功者なのです」、このようなことをおっしゃっています。一日の苦労は円満な家庭で癒やす、すばらしいことばですね。これが 4 番目です。
- (5) ルールの 5 番目では「楽天的に考える。楽天的な考えを土台に今日という日を築く。欠点が邪魔をして前進できないのではないかという取り越し苦労は止めること。人間は、神様の創造物であり、志を高く持てばどんな夢でも叶うのだというように折に触れて思い出すようにする。自分は飛べると思ったら本当に飛べる。失敗するのではないかなどと二度と考えること。心に思い描いていることを人生の青写真にする。さあ、笑って」、このようなことをおっしゃっています。つまり、5 番目は楽天的な考えを土台に今日という日を築くということです。
- (6) ルールの 6 番目は、「行動に自分を語らせる。ただし、前進を妨げる奢りや自惚れという恐ろしい罠に陥らないようにくれぐれも注意する必要がある。今自慢しなくなったら、居丈高に振りかざした握り拳を淵まで水を張ったバケツに突っ込むこと。バケツから手を出した時に残った水の量を見れば、自分が何ほどのものかが思い知らされる。奢りや自惚れを避ける。行動に自分を語らせる」です。これが 6 番目で、謙虚さということだと思います。
- (7) ルールの 7 番目は、「今日の不幸に明日の幸福の邪魔をさせない」です。1 日 1 日が神様からの特別な贈り物だから、今日の不幸に明日の幸福の邪魔をさせないことが大切なのです。これからあとは項目だけをお話します。
- (8) 8 番目は「時間は小さいことに浪費せずに大切な大事のためにとっておく」、
- (9) 9 番目は「今日は自分の最期の日と思って生きる」、
- (10) 10 番目は「今日一日限りの命のつもりで人に接する」、
- (11) 11 番目は「自分や人生を笑う心のゆとりを持つ」、
- (12) 12 番目は「小さなことを疎かにしない」、
- (13) 13 番目は「毎日朝を笑顔で迎える」です。そして、
- (14) 14 番目は「大きな夢も毎日少しずつやれば達成できる」です。全くそのとおりですね。
- (15) 15 番目は「人生を取り仕切るのはあなた」で、人生の主人公は自分自身だということです。
- (16) 16 番目は「災いの中に福の種を探す」です。現在は大不況ですが、福の種は必ずあるわけですよ。そして
- (17) 17 番目は、「真の幸福はあなたのうちにある」です。

4. 来週はクリスマスですので、クリスマスプレゼントとしてふさわしい 1 冊、オグ・マンディーノさんの「人生を語る一偶然を奇跡に変える 17 のルールー」(ダイヤモンド社発行)を紹介させていただきました。放送をお聴きの皆様も、書店等で買い求めてお読みいただければと思います。どうぞ楽しいクリスマスをお過ごしください。

— 2013 年 4 月 8 日加筆・訂正 林明夫 —